

SGEC 分別・表示事業体審査報告書

株式会社 コシイプレザービング(宮崎防腐工場)

平成 2 1 年 6 月

(社)全国林業改良普及協会

目 次

I. 株式会社 コシイプレザービングの概要

II. 審査経過・写真

III. 株式会社 コシイプレザービングの審査における判定事由書

IV. 添付資料（主な確認資料）

V. 審査判定表

I 株式会社 コシイプレザービング(宮崎防腐工場)の概要

1. 申請者名称・所在地 株式会社 コシイプレザービング (宮崎防腐工場)
代表取締役 大鎌 弘行
宮崎県宮崎市大字赤江1244-1

2. 認定事業体 株式会社 コシイプレザービング (宮崎防腐工場)

3. 事業内容・業種 木材加圧注入処理
(認定対象業種) 木材防腐防蟻処理 (加圧注入処理)

4. 沿革・概要

株式会社 コシイプレザービングは、明治初期から木材の保存技術に携わってきた越井木材工業株式会社の薬剤部から発展的に改組して昭和50年に誕生した。以来、木材の防腐防蟻技術を高めるとともにさまざまな素材に着目し、保存技術を確認してきている。そして木材やコンクリートをはじめとする部材の保護剤や洗浄剤、防カビ剤、難燃剤など、多岐にわたる製品を開発し、その販売を行っている。

宮崎防腐工場は平成15年に開設され、自社で開発した防腐防蟻処理技術を活用し、住宅メーカー・プレカット工場等の委託を受けて、木材の防腐・防蟻処理を行っており、平成21年には現在の宮崎市大字赤江に移転し、施設整備を進めている。

【沿革】

- ・1975 (昭和50年) 越井木材工業 株式会社 薬剤部 が発展的に改組し、株式会社コシイプレザービングとして独立。
- ・1985 (昭和60年) レザックがJWPAに優良木材防腐剤として認定登録。AQ対象薬剤にもなる。
- ・1989 (昭和64年) 研究開発施設、製剤工場、ショールーム等を備えた新社屋完成。

- ・1989（平成元年）ポストCCA薬剤としてマイトロールCT87（後にマイトレックACQに名称変更）販売開始。
- ・1990（平成2年）マイトレックACQがJWPAに優良木材防腐剤として認定登録。AQ対象薬剤にもなる。
- ・1995（平成7年）レザック、マイトレックACQがJIS化される。（JIS K 1570）
- ・1998（平成10年）屋久島、及び種子島に野外試験場を開設。
- ・2000（平成12年）寸法安定処理DSシステムの開発。粒状防蟻薬剤コンシペレットB10がJWPAに優良木材保存剤として認定登録。AQ対象薬剤にもなる。
- ・2002（平成14年）低毒性防腐剤レザックDPSが優良木材防腐剤として認定登録。AQ対象薬剤にもなる。
- ・2003（平成15年）宮崎防腐工場、ハウスガードショールームを開設。
- ・2009（平成21年）宮崎防腐工場業務拡大に伴い赤江に移転

【概要】

- 本社 大阪市住之江区平林北2-9-145
- 北海道営業所 北海道旭川市東五条 10-1-17 エデン東五条 203
- 資本金 9,000万円
- 年間売上高 約28億円
- 総従業員数 10名

工場	5名	（男子	5名、女子	名）
事務所	6名	（男子	4名、女子	2名）
- 原料仕入先 株式会社コシイプレザービング（大阪本社）
宮崎県森林組合連合会
- 製品出荷先 宮崎県森林組合連合会
アイ・ホーム株式会社
はやま建設株式会社

(主な確認資料)

- ・ 認証林産物分別・管理計画書
- ・ S G E C 認証林産物分別・表示管理体制図
- ・ S G E C 認証林産物分別・表示管理方針書
- ・ 施設・加工場配置図
- ・ 品質管理等に関する内部規定
- ・ 決算報告書
- ・ 原木実績／仕入実績表、仕入先別仕入実績表、在庫表、総合実績表
- ・ ユーザー別販売高
- ・ 請求書等伝票類、S G E C 認証材取扱台帳等帳票類

Ⅱ. 審査経過・確認資料一覧・写真

1. 株式会社の審査経過

株式会社 コシイプレザービング（宮崎工場）の認定審査は、(社)全国林業改良普及協会認証審査センターの渡辺政一、鳥越貞雄、宇佐美均の3名が下記のとおり行った。

【審査申込】

平成21年7月24日／審査申込

(内 容)

1. S G E C 分別・表示システム、及び全林協の審査手順についての説明
2. 審査申込書の受付
3. 確認資料の説明

【認定審査】

8月10日／書類確認及び現地確認

(場 所)

株式会社 コシイプレザービング（宮崎工場）・木材加圧注入処理施設・製品保管倉庫

(審査員)

(社)全国林業改良普及協会専務理事 渡辺政一
(社)全国林業改良普及協会専門審査員 鳥越貞雄
宇佐美均

(出席者)

株式会社 コシイプレザービング（宮崎工場）
取締役 肥後明人
工場長 瀧内 浩

(内 容)

1. 提出された書類及び資料の説明を受け、修正事項等の確認を行った。
2. 株式会社 コシイプレザービング（宮崎工場）において事業の概要、現行の仕入れ・加工・保管・販売における木材の流れ・管理の仕組み等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
3. 既存の加工注入ライン、製品等保管庫における原料、製品の分別状況を確認した。
4. 管理方針、認証林産物の生産・出荷管理計画、分別・表示管理体制等の遵守意志を確認した。

【審査判定】

9月4日／審査委員会

(場 所)

東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル会議室

(委員名)

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
木構造振興株式会社専務取締役・農学博士	西村 勝美
東京農工大学教授・農学博士	土屋 俊幸
(社)日本育種協会理事	真柴 孝司

(事務局)

(社)全国林業改良普及協会専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	野田 昭一
同 認証審査センター	宇佐美 均

(内 容)

1. 現地確認審査の結果及び SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査要件」について審査内容を説明した。
2. 提出資料、実行体制及び入荷・出荷管理の仕組み等から、申請者は認定に値する事業体であるものと認められた。

Ⅲ. 株式会社 コシイプレザービング（宮崎防腐工場）の審査における判定事由書

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき、「株式会社 コシイプレザービング（宮崎工場）審査判定表（分別・表示）」の 12 項目を審査要件として決定した。

これら「審査要件」に基づいて、「認定審査」を行い、審査委員会に諮ったところ、株式会社 コシイプレザービング（宮崎防腐工場）は、認定に値する事業体であるとして判定された。

なお、審査委員会により、認定取得後の「向上目標」として下記が付記された。

【向上目標】

1. 認定取得後の内部監査を適正に行い、認証林産物のトレサビリティを確立すること。（基準 3-4）
2. 関係職員に対し、十分な教育・研修を図り、分別・表示管理方針書等の趣旨を徹底すること。（基準 3-5）
3. 認証林産物の履歴証明に関わる帳票類の保存に努めること。（基準 3-6）